

# 相高新聞

相生市山手1-722-10  
TEL (0791) 23-0800



HPのQRコード

## 前期球技大会

七月十日(火)、梅雨も明けて酷暑の中、球技大会を実施しました。今年は、相高祭で全ての学年で作成した



クラスTシャツを着用して実施しました。相高祭のスローガン「花様年華」の如く、色とりどりで華やかに行われました。大半の競技で三年生が上位を独占！最後は、テニスコートで行われた、男女のソフトテニスで、大きな声で応援がなされ大いに盛り上がりました。体育館で行われたバドミントンは、経験を生かして、三年生



が上位を独占！卓球は、一・二年生が健闘し上位入賞しました。後期球技大会でも皆さんの奮起に期待しています。

【結果】○ソフトボール…一位二年三組、二位三年五組、三位二年五組○男子ソフトテニス…一位三年五組、二位二年五組、三位一年五組○女子ソフトテニス…一位三年五組、二位三年三組、三位一年三組○男子バドミントン…一位三年一組、二位三年四組、三位二年一組○女子バドミントン…一位三年三組A、二位三年二組、三位三年一組A○男子卓球…一位三年四組、二位二年五組、三位一年二組○女子卓球…一位二年四組、二位二年四組、三位二年二組

## プレゼンテーション講演会

七月十一日(水)、プレゼンテーション講演会を開催しました。年間百回以上講演され、毎年二万人以上の高校生・大学生の指導に当たっておられる京都造形芸術大学の吉田大作先生を講師にお迎えし、実践的なプレゼンテーションのコツについて、上手に発表することではなくプ

レゼンテーションが終わった後に誰をどんな気持ちにさせたいのかを考えること、ねらいを定めて情報収集し一定の方向性をもって編集し表現することなど、多くのメッセージを本校生に伝えていただきました。生徒たちも真剣な表情で講演に聞き入っていました。



## 一学期終業式

七月二十日(金)、一学期終業式を行いました。西校長から、「企業が今、求めている人材には共通点がある。それは『課題解決のために自分で考えて主体的に行動できる人』である。企業はそのような人を、行動原則つまり自分がよつたつ行動軸・判断軸があるかどうかで見抜くようだ。私が皆さんに望むのは『指示待ち』『他人任せ』ではなく、『自分で考えて主体的に行動できる』こと。四十二回生が受験する大学入試から大きく変わろうとしており、従来のペーパーによる一点刻みの合否判定

から、高校時代

に何に主体的に取り組んできたか、これが大きく合否判定に影響するようになる。こうした動きは、今話したように社会の要請による。『自分で考えて主体的に行動できる』ようになるために、『振り返りの習慣』を身につけてほしい。最後に、この夏休み、一・二年生は勉強に部活に、そしてボランティア活動に、三年生は受験勉強に、悔いのない充実した時間を過ごしてほしい」というお話がありました。



## 救急法講習会

七月二十日(金)午後、職員及び夏季休業中に活動する部活動を中心に代表生徒六十六名が参加し、救急法講習会を行いました。赤十字救急法指導員(三名)を講師に迎え、熱中症についての症状・予防・対応につ

いての症状・予防・対応につ

て、また六班に分かれCPRを用いた心肺蘇生法についての実技講習も受けました。この講習会が、夏休み中の熱中症等の大きな事故の予防につながればと思います。



## 看護講演会

七月二十日(金)の午後、兵庫県看護協会主催の「ナースの訪問事業」として、IHI播磨病院より看護師の山下夕貴様にお越しいただき、「命の大切さ」「看護師への道」「看護の仕事について」と題して講演をしていただきました。将来、看護師や医療系を目指す生徒を中心に三十二名の生徒が参加しました。



山下様は本校の卒業生であり、講演は高校や専門学校の学生時代のお話に始まり、インドでのボランティア活動、看護学校での苦労話・体験、災害派遣、毎日の業務などについて、詳しくお話をいただきました。今回の講演を通じて、生徒たちは改めて看護師の仕事の大きさ、責任の大きさ、命の大切さを認識することができました。